

(別記第1号様式)

長岡市自主防災会活動実施報告書

(兼 活動報償金交付申請書)

令和 年 月 日

長岡市長様

団体名: 自主防災会

代表者 氏名: _____

住所: 長岡市

代表者

氏名: 会長

電話: () _____

下記のとおり、自主防災会活動を実施しましたので報告、申請します。

1 活動の内容

実施日時	令和 年 月 日 () 時 分から 時 分まで					
地域	<input type="checkbox"/> 長岡地域	<input type="checkbox"/> 中之島地域	<input type="checkbox"/> 越路地域	<input type="checkbox"/> 三島地域	<input type="checkbox"/> 山古志地域	<input type="checkbox"/> 小国地域
	<input type="checkbox"/> 和島地域	<input type="checkbox"/> 寺泊地域	<input type="checkbox"/> 栃尾地域	<input type="checkbox"/> 与板地域	<input type="checkbox"/> 川口地域	
実施場所					参加人数	名
活動内容	想定災害	<input type="checkbox"/> 地震 <input type="checkbox"/> 水害 <input type="checkbox"/> 土砂災害 <input type="checkbox"/> 火災 <input type="checkbox"/> 津波 <input type="checkbox"/> その他 ()				
	訓練方式	<input type="checkbox"/> 単独訓練 <input type="checkbox"/> 合同訓練 (地区・連合)				
	活動項目 ※裏面参照	<input type="checkbox"/> 避難訓練 (<input type="checkbox"/> 情報伝達 <input type="checkbox"/> 避難 <input type="checkbox"/> 安否確認 <input type="checkbox"/> 要支援者避難支援) <input type="checkbox"/> 避難所運営訓練 <input type="checkbox"/> 講師派遣による講話・講座 <input type="checkbox"/> 資機材点検 <input type="checkbox"/> 救助救出訓練 <input type="checkbox"/> 初期消火訓練 <input type="checkbox"/> その他 ()				
	講習機関	<input type="checkbox"/> 独自 <input type="checkbox"/> 中越市民防災安全士会 <input type="checkbox"/> 危機管理防災本部 <input type="checkbox"/> 消防本部 <input type="checkbox"/> 支所 <input type="checkbox"/> その他 ()				
	活動計画 (活動前)					
成果・課題 (活動後)						

2 自主防災会の構成世帯数 _____ 世帯

※令和8年4月1現在の世帯数を記入してください。

3 中越市民防災安全大学受講 _____ 人 (うち学生 _____ 人)

※中越市民防災安全士の認定証の写しを添付してください。(令和8年度受講分が対象)

4 添付書類

(1) 活動項目でチェックした訓練の様子が確認できる写真 (3枚程度)

※集合写真は不可

(2) 訓練振り返りシート

※避難訓練 (情報伝達、避難、安否確認、要支援者避難支援) を実施した場合

(3) 長岡市自主防災会活動報償金口座振替申請書 (別記第2号様式)

(4) 団体名義の預金通帳の表面と見開きの写し

(金融機関名、支店名、口座番号、団体名の記載があるページ)

危機管理防災本部記入欄

支給決定額	
活動報償金額	_____ 円
安全大学受講 (加算分)	_____ 円
合計	_____ 円

提出期限令和9年3月12日 (金曜日) まで

防災活動内容

■避難訓練

・情報伝達

- 手順① 電話や SNS を活用して連絡体制（連絡網など）を整える。
- 手順② 世帯の状況により、直接訪問するなど複数の伝達手段を検討する。
- 手順③ 市からの避難情報等を連絡体制に従って伝達する。
- 手順④ 想定通りに行えたか確認し、反省点や改善点があれば連絡体制の見直しを行う。

・避難行動

- 手順① 想定災害や発災時の状況に応じた避難計画（避難先や経路等）を各世帯で検討する。
- 手順② 自主防災会はそれらの把握に努める。
- 手順③ 避難計画にしたがって実際に避難する。
- 手順④ 想定通りに行えたか確認し、反省点や改善点があれば避難計画の見直しを行う。

・安否確認

- 手順① 避難計画を踏まえ、確認方法の検討や名簿の作成など、安否確認の体制を整える。
- 手順② 避難行動の後、体制に従って安否確認を行う。
- 手順③ 想定通りに行えたか確認し、反省点や改善点があれば確認体制の見直しを行う。

・要支援者避難支援

- 手順① 自力で避難が困難な方を把握し、名簿作成や支援担当者を決める。
- 手順② 避難時に支援担当者は安否確認や声かけを行い、安全な場所への避難を支援する。
- 手順③ 想定通りに行えたか確認し、反省点や改善点があれば確認体制の見直しを行う。

■避難所運営訓練

災害発生時に避難所を円滑に開設・運営するため、受付、避難者の誘導、物資配布、生活スペースの設営、役割分担の確認など一連の運営手順を実践する訓練。

■講師派遣による講話・講座

市や中越市民防災安全士会等の講師を派遣し、防災に関する基礎知識、避難行動、AED 等の応急手当、地域の防災体制などについて講話や実技指導を受ける。

■資機材点検

地域で保有している発電機・投光器・無線機・消火器などの防災資機材について、作動状況や破損の有無、使用方法、保管状態を確認し、災害時に確実に使用できるよう点検を行う。

■救助救出訓練（AED 訓練、止血・固定などの応急手当、担架等を使用した救出訓練等）

災害時に動けなくなった要救助者を、安全かつ迅速に救出・搬送するための知識と技能を習得することを目的とした訓練

■初期消火訓練（消火器の操作訓練、通報訓練、周囲への避難誘導・安全確保等）

火災が発生した直後の小規模な段階で、消火器や消火栓などを用いて消火活動を行う訓練

【参考】活動報償金額確認表

50 世帯以下	13,000 円	251～300 世帯	25,500 円	中越市民防災安全大学受講 加算分 1 人につき 10,000 円 (学生 5,000 円)
51～100 世帯	15,500 円	301～350 世帯	28,000 円	
101～150 世帯	18,000 円	351～400 世帯	30,500 円	
151～200 世帯	20,500 円	401～450 世帯	33,000 円	
201～250 世帯	23,000 円	451 世帯以上	35,500 円	